

恋人の聖地を活用した地域の元気づくり事業

取組に至る背景・事業の目的

- 昨今の未婚率の上昇等を受け、出生数が年々減少傾向にあり、今後、様々な面での影響が懸念されている。とりわけ大町市では、30歳代の未婚率が比較的高いことから、関係する団体の連携により、出会いの場を創出するなど、全市的な結婚応援体制づくりを進める必要がある。
- 大町市が平成25年4月に「黒部ダムの麓 信濃大町～北アルプスハートロード～」として恋人の聖地に選定されたことから、「恋人の聖地」をテーマとし、地域資源を活用した特色ある取組みを展開することにより、未婚者をはじめ若い人々に対し魅力ある地域づくりにつなげていく。

事業内容

- 信州大学と連携し、「恋人の聖地モニュメント設置と地域振興コンテスト」を実施し、最優秀賞に選ばれたチームのデザインを基に鷹狩山山頂にモニュメントを設置した。
- モニュメントを活用した婚活イベントとして、鷹狩山山頂にて「星☆恋～星を見ながら恋しよう」を開催し、男性18名、女性19名に参加いただいた。当日は、信濃大町観光大使で国立天文台天文情報センター普及室長の縣秀彦氏に星空の解説をしていただいた後、「エコハウスたかがり」にてパーティーを開催し3組のカップルが成立した。



事業効果

- 大町市結婚支援事業実行委員会にて開催した婚活イベントについては、応募者、参加者ともに増加した。また、女性参加者を集めることが課題であったが、10月に開催した「星☆恋」、12月に開催した「輝コン in 国営アルプスあづみの公園」では、男女ともに募集人員を上回った。(対前年比45%増)
- 市民の方から鷹狩山で結婚式を行いたいとの申し出があり、モニュメント除幕式のウェディングプランナーがプロデュースするなど、設置及び除幕式において官・学・民が連携した事業展開を図ることができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 今後、学生から提案いただいたソフト事業についても事業化を検討するとともに、モニュメントを活用した婚活イベント等も引き続き継続していく。
- 恋人の聖地モニュメントの設置を通じて、さらに婚活に対するイメージアップを図り、地域全体で結婚を支援する気運を高めていく。

【選定のポイント】

官・学・民の協働による「恋人の聖地」化に向けた各種イベント開催が積極的に展開され、地域の婚活を支援する気運の醸成や地域活性化への展開に寄与している。

団体名	大町市定住促進協働会議（大町市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0261-22-0420（内線531） （大町市総務部企画財政課定住促進係）	事業費	3,500,360円
メールアドレス	teijuu@city.omachi.nagano.jp	支援金額	652,000円